

新宮津市総合計画 骨子案

参考資料

R2.8.20時点

- 1 「10年後に実現したい宮津の姿」に係る市民アンケートの結果
- 2 統計等数値から見る10年後の宮津市

1 「10年後に実現したい宮津の姿」に係る市民アンケートの結果

○若者定住 72件

- ・若者が戻ってきたい、住みたいと思うような街
- ・子育て支援の充実を行って、子育て世代が増える。
- ・街で働く若者なくして、10年後の将来はないと思います。
- ・若者たちが地元就職をして帰ってきたくなるような街にしたいです。
- ・我が子に「宮津に住みな」と言える街に。
- ・若者が帰ってきてもいいと思える、転入してきたくなる、遊びに来たくなる産業や生活環境が充実したところ
- ・市民が自信を持って市外から地縁のない若い人を呼べる街
- ・大学生の息子と高校生の娘に、生まれ育った宮津がやっぱりいいなと思ってもらえるような街になればと思います。
- ・進学で遠方に行った若い子たちが迷わず帰って来れるような街

○雇用の充実 27件

- ・働く場所(働く選択肢)の多い街
- ・若者達が都会に行かなくても働き場がもっとある街になったらいいと思う。
- ・働く場所がたくさんあり、皆が安定した収入を得られるような街
- ・若者の働く場所があって欲しい。

○活気・元気があるまちづくり 18件

- ・今よりもっと活気のある宮津
- ・地域での活動が活発な街
- ・飲食チェーン店があり他の地域からも人が集まり舞鶴や福知山のように活気のある街になってほしい。
- ・チャレンジがしやすい活気のある街

○インフラ整備・公共交通 16件

- ・交通の便が良く店の多い宮津
- ・信号や歩道の改善や、公園や人が集える施設、ショッピングモールを充実して、若い人がもっと住みたいと思える街にしていけたらいい。
- ・自分で車を運転しなくても買い物や病院に行ける街
- ・買い物に他市町に出る必要をなくして欲しい。

○観光振興 15件

- ・観光を目的に来る人が増える。
- ・日本三景天橋立を軸に京都といえば宮津天橋立ぐらいの知名度にし、他に類をみない観光都市にし、人口を10倍に増やして市民への“無駄”な負担のない(意義のある活動を除く)他に誇れる街にしたいと思います。

○地域コミュニティ 7件

- ・地域の絆が強く、お互いが助け合えるコミュニティのある街
- ・住みやすく地域民との関わりや地域行事が苦にならない代々が住める街

○まちづくり全般 127件

- ・自然豊かな生活に、地域でイベントや交流の場を作って賑やかな街にしたいと思う。
- ・住民一人ひとりが市の問題について自分事としてとらえ、行政・議会だけを批判し自らを省みない風土を撤回する。
- ・一人ひとりが役割を持って意識高く生き生きと暮らしている。行政に頼るのではなくて自発的に動く。
- ・観光に頼りきりの街からの脱却
- ・医療体制を整えて安心して生活できる街
- ・人が暮らしたいと思う宮津
- ・災害のない、若者と年配者が共存共栄できる街
- ・自分の住むまちに自信と誇りを持って人が暮らす街

2 統計等数値から見る10年後の宮津市

	H27 (国勢調査)	R2.3末 (住基)	R12 (社人研推計)
総人口	18,426人	17,592人 (推計人口16,808人)	13,663人
(内訳)男性	8,726人	8,349人	6,645人
女性	9,700人	9,243人	7,018人
(内訳)0~14歳	1,870人(10.1%)	1,683人(9.6%)	1,037人(7.6%)
15~64歳	9,190人(49.9%)	8,529人(48.5%)	6,080人(44.5%)
65歳以上	7,366人(40.0%)	7,380人(41.9%)	6,546人(47.9%)
うち75歳以上	4,163人(22.6%)	4,169人(23.7%)	4,391人(32.1%)
15~49歳(出産可能年齢)の女性数	2,537人	2,465人	1,379人
うち20~39歳の女性数	1,172人	1,139人	633人
15~49歳の男性数	2,788人	2,680人	1,923人
うち20~39歳の男性数	1,303人	1,299人	1,039人
出生数	98人	73人	※R8~R12平均 57.4人

	H24	H28	R12
年間商品販売額	263.34億円	238.31億円	152.99億円
小売業年間商品販売額	206.02億円	185.57億円	119.18億円
製造品出荷額	93.03億円	81.4億円(H29)	56.68億円
空家率	26.2%(H25)	27.4%(H30)	34.3%

出典：H24,H28年間商品販売額・小売業年間消費販売額 経済センサス-活動調査の数値を消費者物価指数(2015年基準)でデフレーター補正
H24,H29製造品出荷額 工業統計調査数値を国内企業物価指数(2015年基準)でデフレーター補正
R12年間商品販売額・製造品出荷額 デフレーター補正した統計数値から曲線回帰分析により算定
R12小売業年間消費販売額 R12年間商品販売額にH28の年間商品販売額に対する小売業年間商品販売額の割合(77.9%)を乗じて算定
H25,H30空家率 住宅・土地統計調査 R12空家率 野村総合研究所の予測値を基に算定

	H27	H30	R12
市税収入(現年課税分)	25.47億円	24.85億円	21.22億円
財政調整基金残高	5.21億円	1.08億円	—
地方債残高	125.96億円	152.37億円	—

その結果、

- ・人口が減り、高齢化が進むことで、人手不足や空家の増加、地域コミュニティの弱体化等につながります。
- ・商品販売額や製造品出荷額が減少することで、地域経済が低迷します。
- ・市税収入、財政調整基金残高の減少と併せて、地方債残高は増加しており、非常に厳しい財政状況となっています。